株式会社オリエンタルランドと
株式会社サンリオ

総合経営学部　経営学科　2 年

31100000

設問①　企業の概要

【株式会社オリエンタルランド】

・1960 年 7 月 11 日設立
・従業員…取締役 10 名、監査役 4 名、執行役員 19 名
・役員数…正社員 3,361 名、準社員 18,528 名(2017 年 4 月 1 日時点)
・事業内容…テーマパークの経営・運営および不動産賃貸
・関連会社…(　主な連結対象子会社　)
株式会社ミリアルリゾートホテルズ 、株式会社イクスピリア
株式会社グリーンアンドアーツ 、株式会社デザインファクトリー
株式会社リゾートコスチューミングサービス 、株式会社 M テック
株式会社舞浜リゾートライン 、株式会社舞浜コーポレーション
株式会社フォトワークス 、株式会社ベイフードサービス
株式会社 MBM 、株式会社ブラントンコーポレーション
(　持分法適用の関連会社　)
東京ベイシティ交通株式会社 、京成トランジットバス株式会社
株式会社舞浜リゾートキャブ
・上場証券取引所…東京証券取引所　市場第一部
・経営姿勢…１，対話する経営　２，独創的で質の高い価値の提供
３，個性の尊重とやる気の支援　４，経営のたゆまぬ革新と進化
５，利益ある成長と貢献　６、調和と共生
・行動指針…１，探求と開拓　２，自立と挑戦　３、情熱と実行
・企業使命…自由でみずみずしい発想を原動力に
すばらしい夢と感動
ひととしての喜び
そしてやすらぎを提供します。

【株式会社サンリオ】

・1960 年 8 月 10 日設立。
・嘱託・アルバイト等を除く従業員数は 759 名(2017 年 3 月 31 日時点)
・事業内容…ソーシャル・コミュニケーション・ギフト商品の企画・販売
グリーティングカードの企画・販売、出版物の企画・販売
レストランの運営、映画の製作・配給・興行
ビデオソフトの製作・販売、ライブエンターテイメントの企画・公演
著作権の許諾、テーマパーク事業
・関連会社…**(　国内　)**
株式会社サンリオエンターテイメント、株式会社ココロ
株式会社サンリオファーイースト、サンリオ自動車リース会社
株式会社サンリオエンタープライズ、株式会社サンリオ音楽出版社
株式会社サンリオウェーブ、株式会社パントゥリー、株式会社 Nal
(　海外　)
Sanrio, Inc.
Sanrio do Brasil Comerico e Representacoes Ltda.
三麗鷗股份有限公司［Sanrio Taiwan Co., Ltd.］
Sanrio GmbH 、Sanrio (Hong Kong) Co., Ltd.
Sanrio Korea Co., Ltd.
三麗鷗上海国際貿易有限公司［Sanrio Shanghai International Trade Co., Ltd.］
Sanrio Asia Merchandise Co., Ltd. 、Sanrio Wave Hong Kong Co., Ltd.
Sanrio Global Ltd.、Mister Men Ltd. 、THOIP、Mister Films Ltd.
Sanrio UK Finance Ltd. 、Sanrio Chile SpA. 、Sanrio Global Asia Ltd.
・企業理念…Small Gift Big Smile
・基本方針…心から話し合える仲間をもつこと
・基本理念…ソーシャル・コミュニケーション

設問②　要約財務諸表

株式会社オリエンタルランド

［単位：百万円］

連結貸借対照表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
資産合計	655,544	664,538	746,641	810,268	849,798
流動資産	150,844	174,352	242,330	293,728	319,069
固定資産	504,700	490,186	504,311	516,540	530,728
繰延資産	0	0	0	0	0
負債合計	223,282	170,841	182,511	185,327	180,282
流動負債	109,845	109,706	116,284	119,095	111,103
固定負債	113,436	61,135	66,227	66,232	69,179
純資産合計	432,262	493,697	564,129	624,941	669,515
資本金	63,201	63,201	63,201	63,201	63,201
資本剰余金	111,584	111,860	111,911	111,911	111,911
利益剰余金	298,400	358,955	418,716	480,925	551,630
自己株式（減算）	46,876	46,684	46,863	46,721	70,464
株主資本合計　①	426,309	487,332	546,966	609,317	656,279
その他の包括利益累計額合計　②	5,952	6,365	17,162	15,624	13,235
自己資本合計　＝①+②	432,261	493,697	564,128	624,941	669,514
新株予約権	0	0	0	0	0
非支配株主持分（少数株主持分）	0	0	0	0	0
負債・純資産合計	655,544	664,538	746,641	810,268	849,798

株式会社オリエンタルランド

［単位：百万円］

連結損益計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売上高	395,526	473,572	466,291	465,353	477,748
売上原価	265,946	301,068	295,924	294,217	299,543
売上総利益	129,580	172,504	170,367	171,135	178,204
販売費及び一般管理費	48,113	58,012	59,762	63,778	65,052
営業利益	81,467	114,491	110,605	107,357	113,152
営業外収益	1,848	2,744	2,539	2,986	2,480
営業外費用	2,449	4,563	2,658	1,129	1,021
経常利益	80,867	112,671	110,486	109,214	114,611
特別利益	0	0	0	130	0
特別損失	0	0	0	210	0
税金等調整前当期純利益	80,867	112,671	110,486	109,135	114,611
法人税等合計	29,382	42,099	38,422	35,206	32,237
当期純利益①：2015 年 3 月以降（少数株主損益調整前当期純利益）	51,484	70,571	72,063	0	0
非支配株主に帰属する当期純利益（少数株主利益）	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益（当期純利益）	51,484	70,571	72,063	73,928	82,374

［単位：百万円］

連結キャッシュ・フロー計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
営業活動によるＣＦ	91,982	120,674	105,513	110,910	117,611
投資活動によるＣＦ	-45,377	-23,356	-68,100	-118,754	-33,631
フリー・キャッシュ・フロー	46,605	97,318	37,413	-7,844	83,980
財務活動によるＣＦ	-34,515	-77,868	-11,107	-11,814	-28,788
現金及び現金同等物の換算差額	-18	-14	-44	15	-26
現金及び現金同等物の純増加額	12,071	19,434	26,261	-19,642	55,164
現金及び現金同等物の期首残高	48,511	60,582	80,017	106,279	86,636
現金及び現金同等物の期末残高	60,582	80,017	106,279	86,636	141,801

株式会社オリエンタルランドは 2014 年の東京ディズニーリゾート 30 周年を機に入園者数が 3 千人レベルに到達したことで資産や純資産、売上高が上昇していることがわかる。

なかでも、入園者数の増加とゲスト一人当たりの売上高の増加による売上高の上昇が良くわかる。

また、東日本大震災の影響による特別損失があったものの、 営業利益の増加に加え、有利子負債の減少による金利負担の減少と法人税負担の減少により年々増加をしているのが目立つ。

株式会社サンリオ

［単位：百万円］

連結貸借対照表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
資産合計	97,425	117,585	122,124	105,826	101,312
流動資産	55,672	72,238	74,311	57,757	56,295
固定資産	41,638	45,248	47,714	48,006	44,967
繰延資産	115	98	97	62	49
負債合計	48,443	55,701	55,855	51,092	48,253
流動負債	24,879	29,288	29,373	23,022	24,824
固定負債	23,563	26,413	26,481	28,070	23,429
純資産合計	48,982	61,883	66,269	54,733	53,058
資本金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	3,418	3,423	3,423	3,423	3,423
利益剰余金	41,186	49,140	53,087	55,950	55,638
自己株式（減算）	1,884	1,882	4,800	11,789	11,789
株主資本合計　①	52,719	60,681	61,710	57,585	57,272
その他の包括利益累計額合計　②	-3,942	966	4,270	-3,177	-4,418
自己資本合計　＝①+②	48,777	61,647	65,980	54,408	52,854
新株予約権	119	167	165	162	0
非支配株主持分（少数株主持分）	85	67	121	164	204
負債・純資産合計	97,425	117,585	122,124	105,826	101,312

株式会社サンリオ

［単位：百万円］

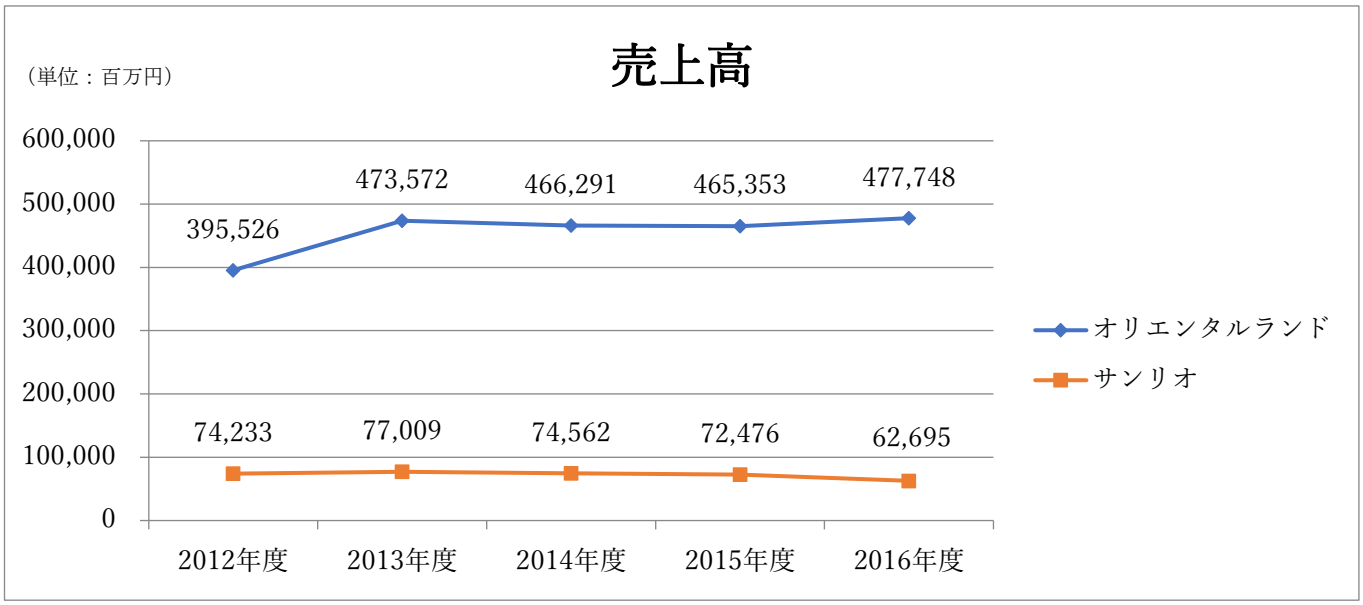
連結損益計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売上高	74,233	77,009	74,562	72,476	62,695
売上原価	24,797	23,654	24,003	25,156	22,211
売上総利益	49,435	53,355	50,558	47,320	40,483
販売費及び一般管理費	29,255	32,340	33,094	34,631	33,566
営業利益	20,198	21,019	17,468	12,675	6,904
営業外収益	714	890	1,587	1,242	927
営業外費用	1,266	1,729	530	738	577
経常利益	19,646	20,180	18,525	13,178	7,255
特別利益	157	387	1,235	856	756
特別損失	1,122	58	359	199	101
税金等調整前当期純利益	18,681	20,508	19,401	13,836	7,910
法人税等合計	6,120	7,673	6,558	4,185	1,391
当期純利益①：2015 年 3 月以降（少数株主損益調整前当期純利益）	12,561	12,834	12,843	9,650	6,518
非支配株主に帰属する当期純利益（少数株主利益）	24	31	38	41	42
親会社株主に帰属する当期純利益（当期純利益）	12,536	12,802	12,804	9,609	6,475

［単位：百万円］

連結キャッシュ・フロー計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
営業活動によるＣＦ	17,085	17,448	14,438	10,011	7,037
投資活動によるＣＦ	-485	-6,851	-7,818	-6,398	8,736
フリー・キャッシュ・フロー	16,600	10,597	6,620	3,613	15,773
財務活動によるＣＦ	-9,651	-5,417	-11,921	-19,582	-6,111
現金及び現金同等物の換算差額	2,066	4,170	1,301	-733	-742
現金及び現金同等物の純増加額	9,013	7,550	-4,000	-16,703	8,919
現金及び現金同等物の期首残高	25,107	34,120	41,671	37,670	21,170
現金及び現金同等物の期末残高	34,120	41,671	37,670	21,170	30,090

大きな変化がなく安定しているのが良くわかる。長期成長可能な事業の確立、ダイバーシティ・マネジメントの活用、キャラクターポートフォリオの構築といった自ら対処すべき課題として挙げている。このままでは緩やかに減少し続けるのが目に見えているので、市場状況に影響されない商品の開発が必要になるのではないだろうか。

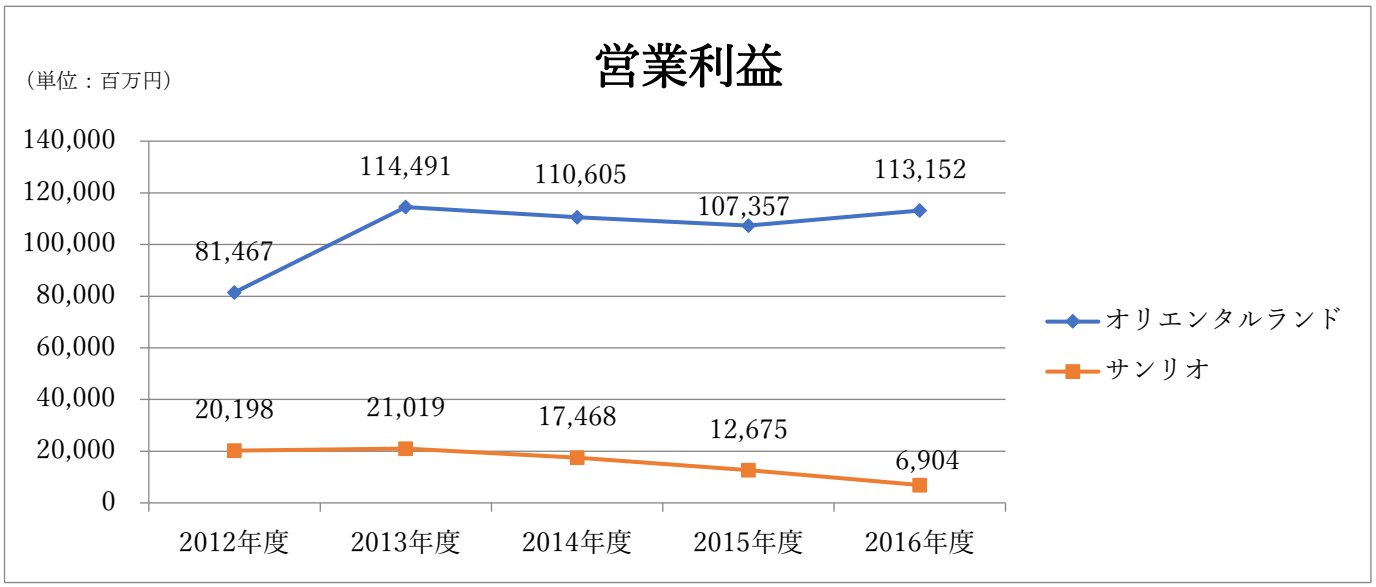
設問④　企業分析と経営比較



オリエンタルランドは、2012 年度から 2013 年度の売り上げの上昇が大きい。

サンリオは、ほぼ変化がないが緩やかに減少しつつある。

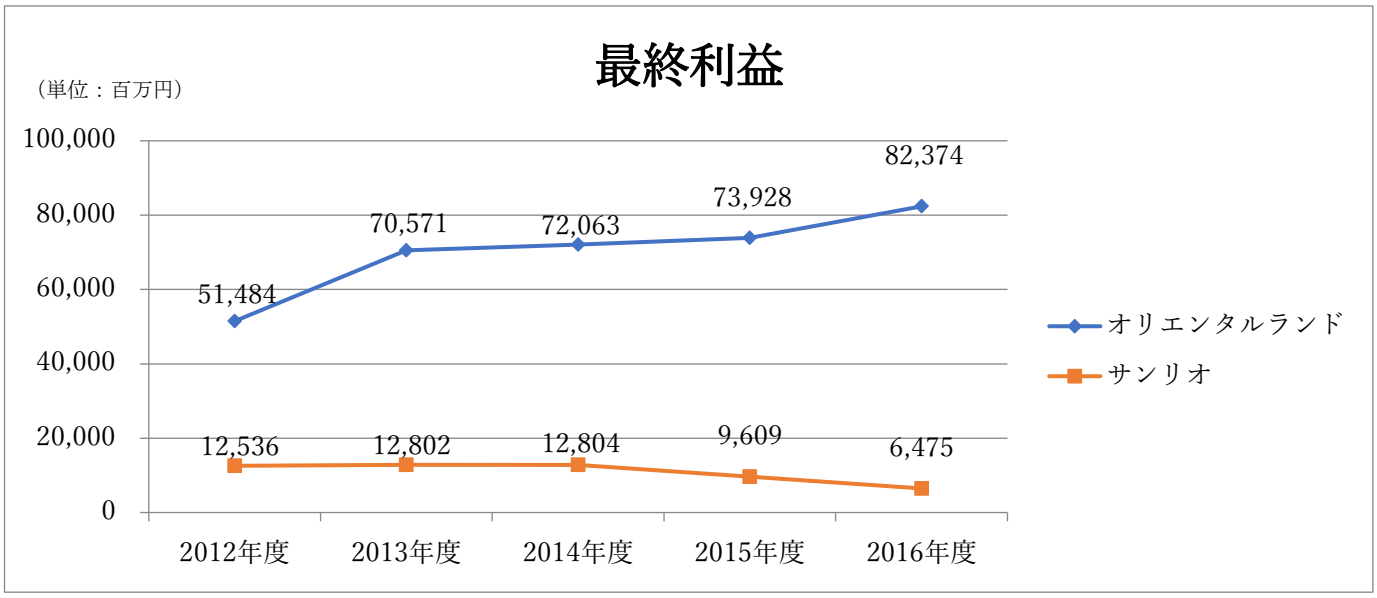
オリエンタルランドは、東京ディズニーシー10 周年や東京ディズニーリゾート 30 周年などの節目の年だったために、テーマパークの入園者数が大幅に増えたことに伴い売上高が上昇している。



オリエンタルランドは、2012 年度から 2013 年度にかけて大きく上昇している。

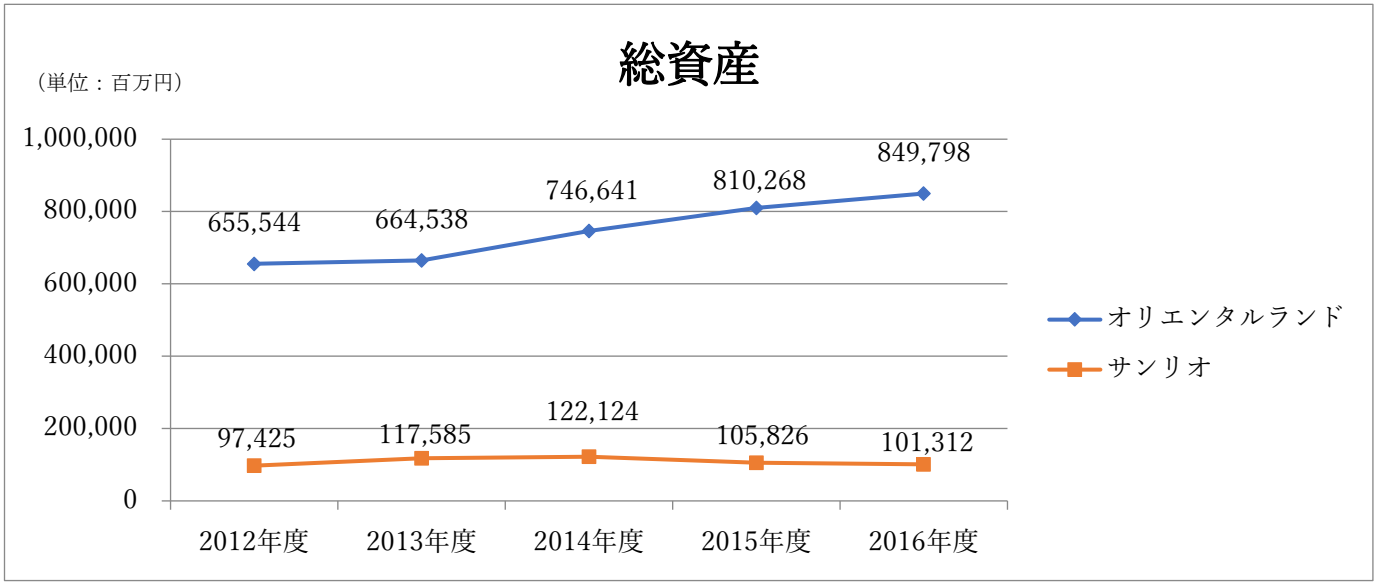
一方、サンリオは、2012 年度から 2016 年度にかけて緩やかに、しかし確実に営業利益が減少し続けてしまっている。

オリエンタルランドは、東京ディズニーシーの減価償却費の減少により大きく営業利益が上昇している。



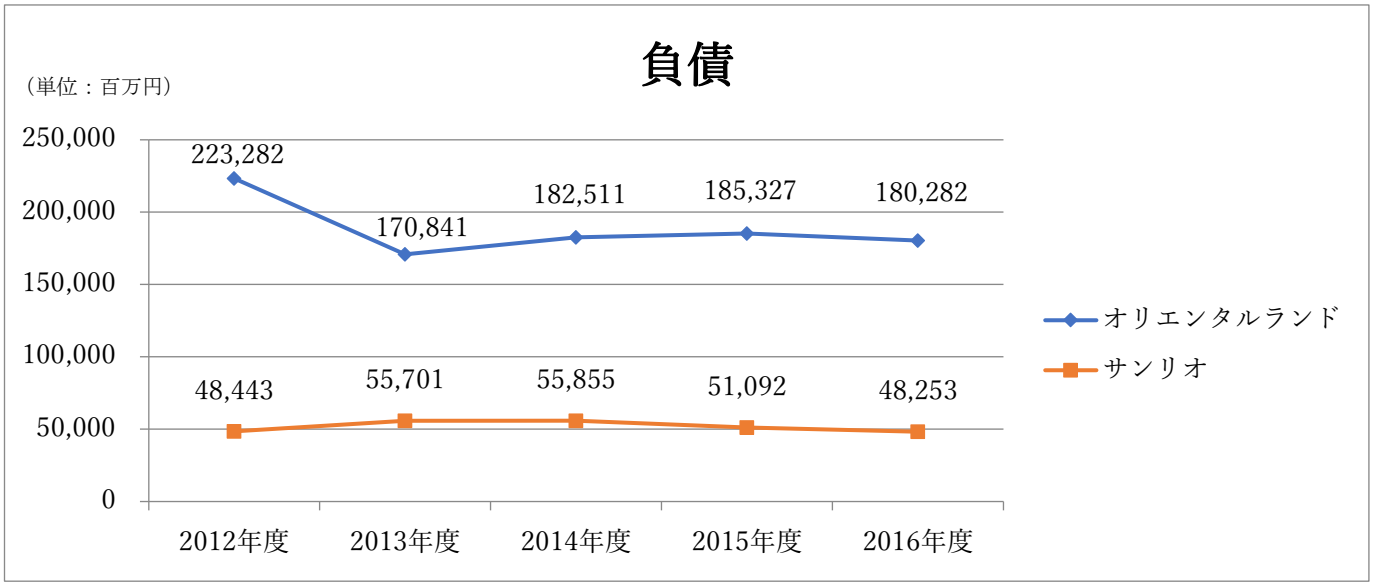
オリエンタルランドは、2012 年度から 2013 年度にかけて最終利益が大きく上昇し、その後も緩やかに上昇し続けている。

サンリオは、徐々に最終利益が減少し続けているが、特に 2014 年度から 2016 年度にかけての減少が大きい。



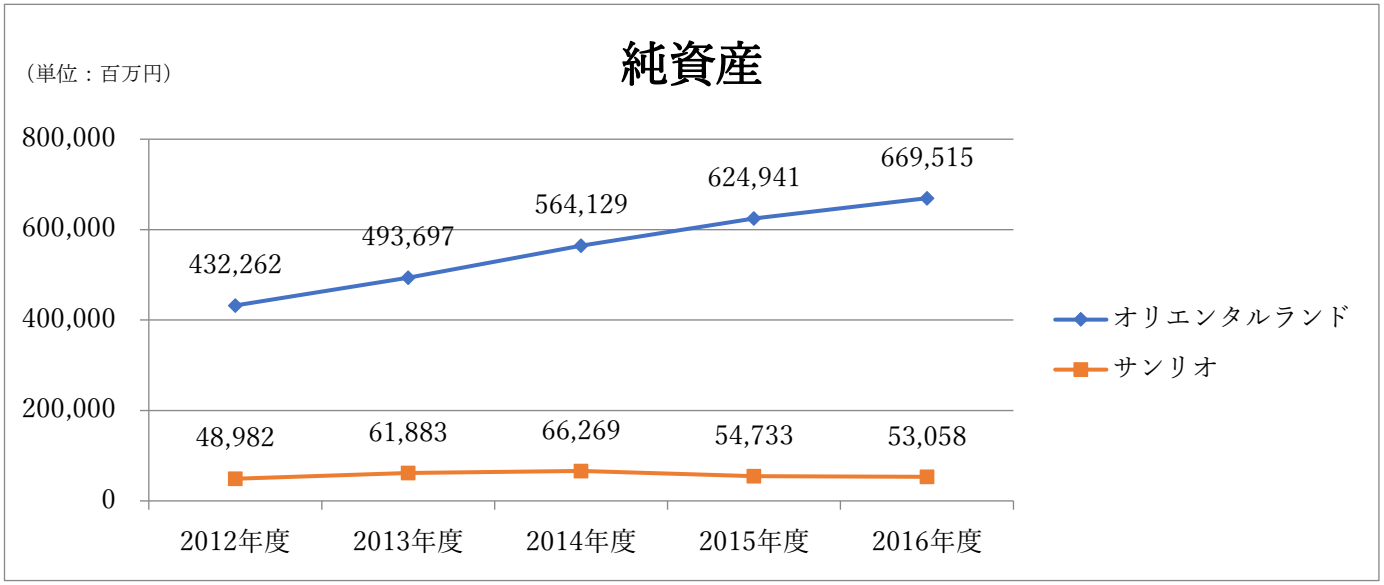
オリエンタルランドは、2012 年度から 2016 年度にかけて総資産を大きく増加させている。特に、2012 年度から 2013 年度にかけての大幅な上昇が目立つ。

一方、サンリオは、2012 年度から 2016 年度の間ほぼ変化がなく、年々確実に総資産が減少してしまっている。



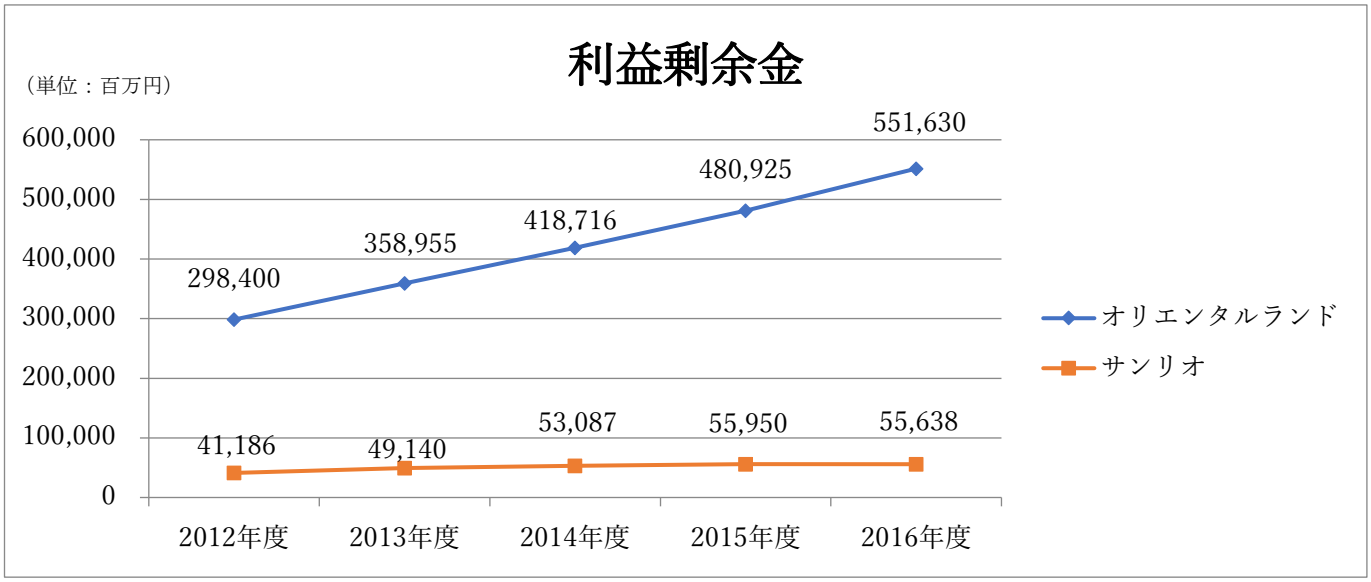
オリエンタルランドは、2012 年度から 2013 年度にかけての負債の減少率が大きい。しかし、その後は大きな変化がない。

一方、サンリオは、2012 年度から 2016 年度の間多少の増減はあっても負債額に変化はない。



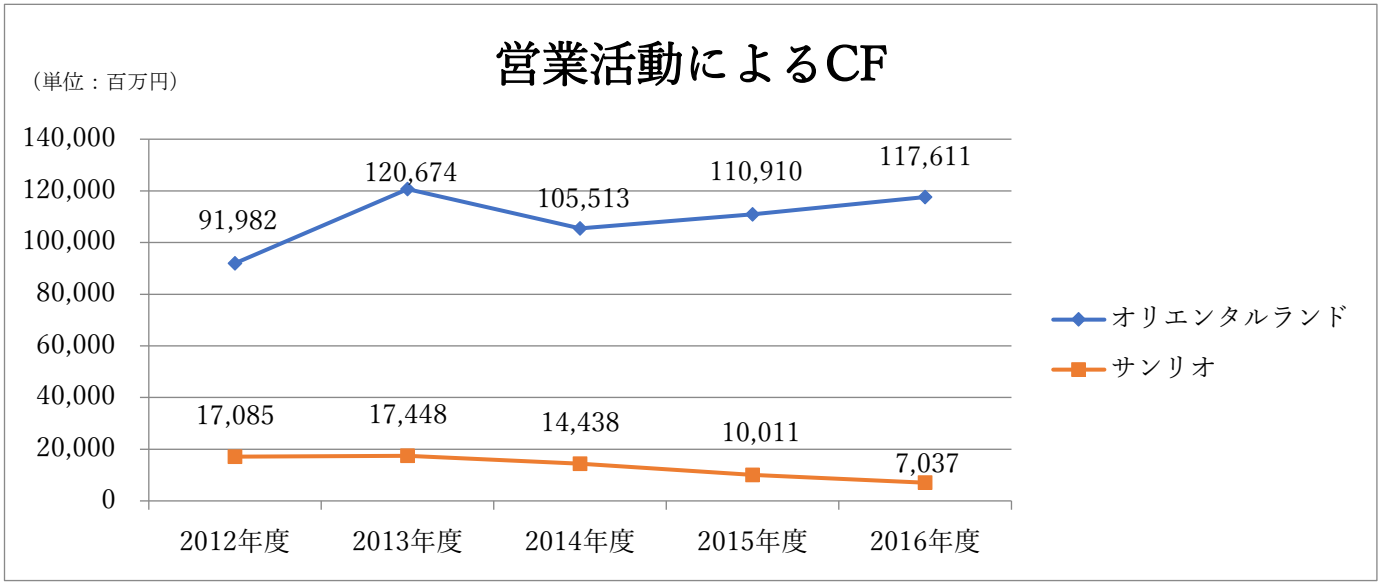
オリエンタルランドは、2012 年度から 2016 年度にかけて純資産を約 400,000 百万円から約 600,000 百万円へとかなり大きく上昇させることに成功している。

しかし、サンリオは、ほぼ 5 年間で変化がない。



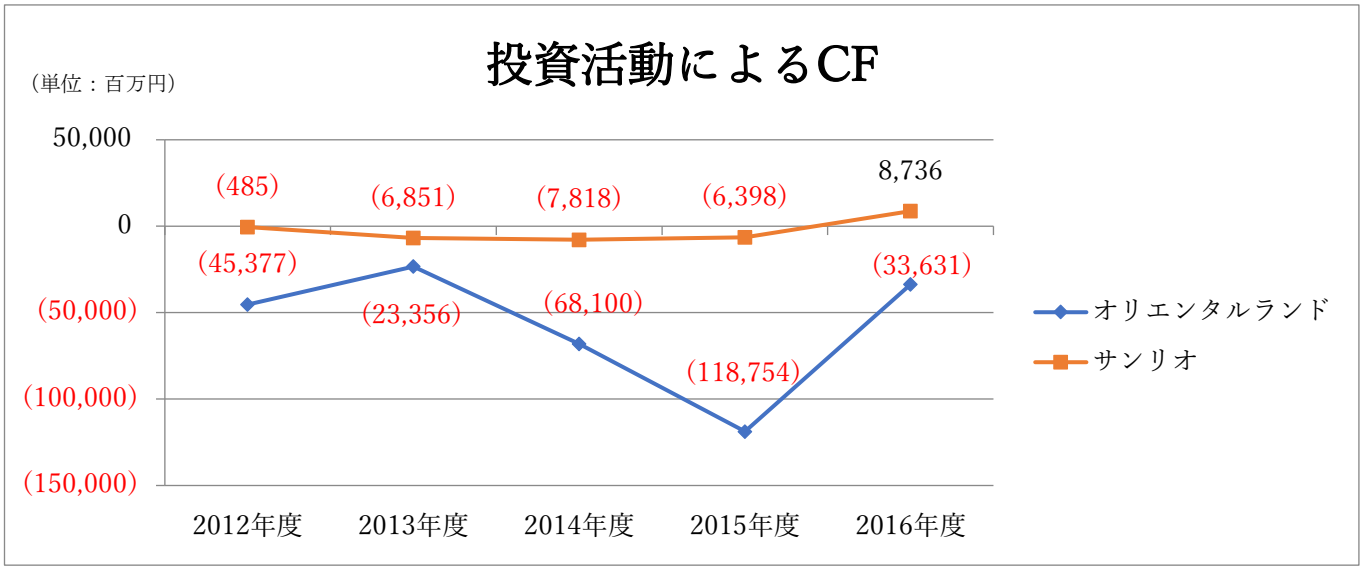
オリエンタルランドは、2012 年度から 2016 年度の間毎年おおよそ 50,000 百万円ずつ上昇させている。このまま減少させずにどうこの伸びを続けるかが難しいのではないかと思う。

打って変わってサンリオは、ほとんど変化のない状況である。いかに上昇させるかがポイントになりそうである。

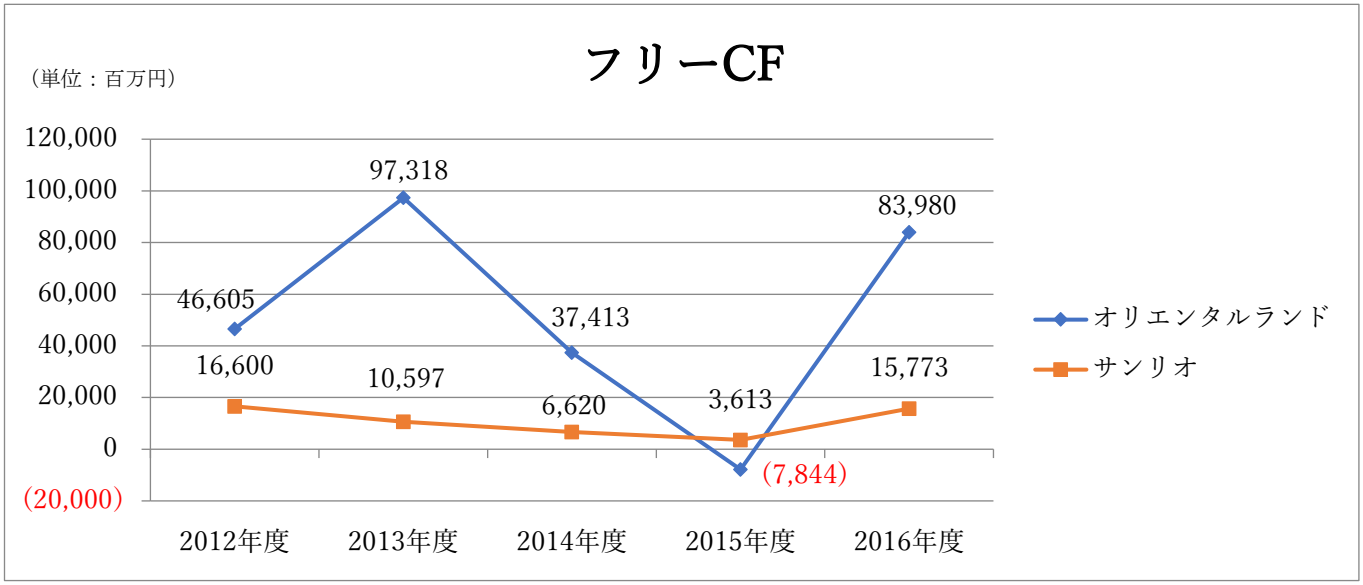


オリエンタルランドは、1 度大きく上昇し下降している。下降部分に目がいきそうになるが元の数値から考えると十分に上昇しているといえるだろう。

サンリオは、徐々に減少していたが 2014 年度を境に減少度合いが大きくなってしまっている。



オリエンタルランドは、2013 年度から 2015 年度の減少が大きく、2015 年度から 2016 年度の上昇度合いも 2 年分が挽回されるほど大きく回復している。
コア事業の拡充期は年間 400 億円超で推移しており、2015 年 3 月期以降 は、2016 年 4 月発表の開発計画などによって、高い水準を維 持しているようだ。
対するサンリオは、大きくマイナスを出すことなくむしろ上昇しつつある。



オリエンタルランドは、2012 年度から 2013 年度に大きく上昇、2013 年度から 2015 年度の 2 年間の減少、2015 年度から 2016 年度は前の 2 年間の分を挽回するような上昇を見せている。
サンリオは、2012 年度から 2015 年度まで緩やかに減少していたが、2015 年度から 2016 年度の間にほぼ元の金額に戻っている。
また、オリエンタルランドも元の金額から考えると、途中の激しい上昇・下降を抜きにすると 2016 年度にはほぼ倍額にまで上昇させている。

まとめ

オリエンタルランドは、激しく増減を繰り返しながらも売上高の８割の占めるテーマパーク事業が市場価値を高めていることもあり確実に売上等をのばしており安定しているともいえる。

一方サンリオは、上昇しているものもあるがどちらかといえば減少しているものが多い。また、上昇しているものも緩やかにほんの少しであるためこのままの事業を進めていると長期的な成長が望めないばかりか、倒産の危機に陥るのではないかと思った。これからサンリオは自らが掲げる課題をどう解決させていくかが企業に大きな影響を与えるのではないかと思う。そのためオリエンタルランドはよりも今後の成長に期待できるといってよいように感じた。

参考文献

『株式会社オリエンタルランド』

アニュアルレポート

http://www.olc.co.jp/ja/index.html

『株式会社サンリオ』

https://www.sanrio.co.jp/corporate/

『EDINET』

http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/